



2024-2025年度テーマ・スローガン

RI アーチック会長



第2820地区 大高司郎ガバナー

BE THE INSPIRATION**“元気な一歩、共に成長するクラブの力”**

土浦RC 原田博夫会長

Toward Social Well-Being**“ソーシャル・ウェルビーイングを目指して”****【ウグイス】**

ウグイスは、スズメ目ウグイス科ウグイス属に分類される鳥類である。日本三鳴鳥の1つ。山梨県と福岡県の県鳥であり、土浦市の鳥にも指定されている。「ホーホケキョ」と大きな声でさえずり、日本ではほぼ全国に分布する。平地にて鳴き始める季節が早春であることから春告鳥（ハルツゲドリ）の別名がある。

2024~2025年度(第67期 原田博夫年度)

7月第1例会プログラム**7月4日(第3182回)****VOL. 1**

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 会長・幹事就任挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 新入会員入会式
- 会 食
- 誕生祝・入会記念祝・結婚記念祝
- 「ロータリーの友」紹介
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

会 長

奉仕の理想

親睦活動委員会

海老澤 孝一君

親睦活動委員会

公共イメージ委員会

S.A.A

出席委員会

会 長

ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県**土浦ロータリークラブ**

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

創 立 1958年2月14日(昭和33年)

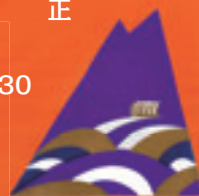
会長 原田 博夫 幹事 廣瀬 正

承 認 1958年3月 7日(昭和33年)

事務局:土浦市中央2丁目16-9(常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30



66期事業報告

ロータリー情報委員会

鶴田 一郎 ロータリー情報委員長

事業計画に対する実績

- ①入会3年未満の会員を対象にSTAR委員会を開催した。コロナの影響でSTAR委員会が開催出来なかった為、入会5年未満の会員も参加の対象とした。
- ②新入会員向けのオリエンテーション資料の作成を検討した。ガバナー公式訪問時に頂いた水戸クラブの資料を参考の一つとした。
- ③他クラブとの交流を通じて、ロータリーの知識を深める為、親クラブの水戸ロータリークラブ例会への訪問を実施した。



委員長総括

- ① STAR委員会の開催で新入会員の疑問点の解消に繋がった。
- ② 他クラブへの例会訪問でメイクアップの楽しさを感じて貰えた。同時開催の水戸クラブメンバーとの懇談会は、ロータリークラブの世界的組織の存在意義が理解できた。

クラブ管理運営委員会

平島 隆之 クラブ管理運営委員長

事業計画に対する実績

【出席委員会】

例会前の会員出迎え等、出席しやすい雰囲気づくりを継続して実施できていたと評価している。

【親睦活動委員会】

会員が楽しめるクラブ作りとして、夜例会や懇親会を開催したことを評価している。

【プログラム委員会】

外部卓話も巧みに取り入れて、有意義なプログラムを立案実施されたと評価している。

【クラブ会報委員会】

これまで同様、当クラブらしい素晴らしいクラブ会報を作成できたと評価している。



【公共イメージ委員会】

原則、月の第一例会での「ロータリーの友」の内容紹介によってロータリー情報の会員への展開ができたことを評価している。

委員長総括

小坂会長のテーマである「再生・変革を楽しく、格調高く」に則り、格調高いクラブ運営を行いながら会員が楽しめるクラブ作りを目標に、配下の各委員会がそれぞれ活動できた一年であったと実感しています。運営に協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

出席委員会

關本 淳一 出席副委員長

事業計画に対する実績

- 1 休みが続いている会員への積極的な声掛けはできませんでした。
- 2 例会に出席した会員の皆様を入り口で出迎え、笑顔で積極的にお挨拶、お声掛けをしました。
- 3 ガバナー公式訪問時に前年度出席率100%の会員を表彰し、記念品を贈呈しました。
- 4 出席率の高い会員から聞いた高い出席率を維持する秘訣を、皆様に紹介しました。



委員長総括

4月末時点での出席率分布は次のとおりです。

0～19%	20～59%	60～99%	100%以上
6名	9名	10名	25名

半数の会員が100%以上であり、素晴らしい結果です。

中間層に対しては、中間出席率をお知らせし、声掛けすることで、出席率向上を図れたのではないかと反省しています。

長期欠席者に対しては、心理的負担になりかねないと考え、声掛けができませんでした。適切なアプローチの仕方について、今後皆様で考えていければと思います。

奉仕プロジェクト委員会

佐藤 ぱうろ 奉仕プロジェクト委員長

事業計画に対する実績

1. 職場訪問を実施するとともに、卓話を通じて職業倫理を醸成した。
土浦健康まつりにおいて、医療関係会員の職業を通じた奉仕を行った。
2. 人道支援として道心園への寄附等、環境保全として清掃活動等
3. 16名での訪台による台北陽明RCとの友好・連携
この指とまれ事業への参画、台湾地震被災地支援
外国（フィリピン・タイ・ネパール）への訪問・奉仕
4. 体験型子ども食堂やかすみがうらウォーキングにおけるRAC・留学生との連携、地区補助金事業（本の通帳）
 - ・体験型子ども食堂においては、委員会を超えた共同事業として地域貢献を行った。
 - ・ロータリー版茨城ガイドブック（ミテラン）やこの指とまれ事業等を通じて地区へコミットした。
 - ・体験型子ども食堂やかすみがうらウォーキング、職場訪問、訪台等、参加する会員も楽しむ奉仕活動を行った。



国際奉仕委員会

中島 賢一 国際奉仕委員長

事業計画に対する実績

1. 7月、地区GGを利用したタイ国 3350地区 バンコク・パタナカンRCのチョックチャイ 病院に電子マイクロ整形外科骨ドリル と内視鏡手術用電気手術システム贈呈に現地贈呈式へ参加しました。
2. 12月、社会奉仕委員会と共同で行う参加型子ども食堂の事業を行いました。
3. 3月、台北陽明ロータリクラブからの周年行事にはロータリーファミリーを含め16人で訪台を行いました。ゴルフコンペへの参加や市内観光を通して台北陽明ロータリークラブとの親睦を深め、周年行事では大いに楽しめたと感じています。
4. 4月、下館RC、日立RCのWCSネパールの子供達への就学支援への現地贈呈式への参加をいたしました。
5. 5月、2024-2025年度の地区GGを利用したネパールへの医療機器の贈呈事業のホストクラブとして参加を表明いたしました。
6. 5月、財団奨学生でロンドンに学びに行く予定の筑波大学生 松村みなみさんをバックアップするためホストクラブになることを表明いたしました。
7. 6月時点、当クラブ独自のネパールのグローバルグラントについてはネパール側からの要望がまだ届かず、本年度のグローバルグラント地区予算には組み込むことが叶わなかったため来年度以降に引き継ぐ予定です。



委員長総括

新型コロナ5類移行後にスタートを切った、名実ともにポストコロナ元年として、（一部持ち越し含め）予定したすべての事業を平常運行にて実施することができた。4委員会ともに実のある奉仕活動ができたのも、各委員長はじめ、会員の皆様のご協力のおかげです。67期・原田会長年度も多くの方が参加できる奉仕活動をお願いいたします。

委員長総括

本年度は台湾、タイ国、ネパールなど現地へ足を運び、ロータリーの国際奉仕の事業を確認し、国際奉仕の事業の大切さや有益性を肌感を持って勉強してきました。

次年度の予定は以下の通り

1. 地区GGを利用したネパールへの医療機器の贈呈事業のホストクラブとしての参加、現地で

の贈呈式を行う。

2. 財団奨学生としてロンドンに学びに行く 松村みなみさんをバックアップクラブしてく。
3. 当クラブ独自のネパールのグローバルグラントへの立ち上げを行う。
4. GGやWCSを通してのタイ国、フィリピン国への奉仕事業への参加と現地での贈呈式参加を行いたい。

以上、五つの事業を次年度に申し送りしていきたいと思います。

S A A 委員会

福田 雅典 S A A 副委員

事業計画に対する実績

土浦ロータリークラブの伝統と格式を守るべく、格調高くかつ和やかな例会心掛けて運営いたしました。例会前に幹事やプログラム委員長と例会の進行についての確認を行い、開会と閉会の時間厳守に努めました。例会については概ね時間とおりに進行することができました。

ニコニコボックスにつきましては、5月末時点で約200万円であり、目標額の250万円には届きませんでした。

ミリオンダラーミールを実施いたしました。また卓席ごとに花を設置し、例会後には希望の会員に持ち帰っていただきました。

委員長総括

例会の現場監督として、幹事やプログラム委員会との事前打合せが必要であり、その意識を持って1年間運営いたしました。格調高くかつ和やかな例会運営に努め、副S A Aもその意識の基に運営していただき、心より感謝いたします。

ニコニコボックスにつきましては、会員の減少もあり昨年度より減額となってしまいました。例会だけでなく、同好会などの親睦活動、奉仕活動を行うことで会員が減少しても寄付をしていただける機会が増えます。クラブとしてそういった活動をより多く増やして、奉仕活動の基となる寄付

を募っていただければと思います。

1年間ご協力ありがとうございました。

職業分類・会員選考委員会

藤田 雪絵 職業分類・会員選考委員長

事業計画に対する実績

1. 職業分類表を確認し、充填及び未充填についても確認した。
2. 今年度は2名の会員候補の推薦について慎重に調査選考を行い、その可否を理事会に報告した。
3. 新分野の職業分類を検討した。
4. 職業分類の見直しについては実施できなかった。

委員長総括

今年度のガバナーとの協議会で未充填の職業分類の充填に重きを置かずともよいのではとのご意見を頂き、これからは職業分類にこだわり過ぎず新入会員の増強に重点を置いていく事が必要だと思う。

親睦活動委員会

大塚 芳行 親睦活動委員長

事業計画に対する実績

例会開始前の会員のお出迎え、毎月の会員の皆さまへの各種お祝い等、委員会メンバーの協力を得ながら準備・実施致しました。

また、観桜会等の家族懇親会やクラブ内行事では10月には大久保ガバナー公式訪問後の「家族懇親会」12月には多くの家族を招いての「忘年会」4月には「観桜会」の開催企画運営致しました。

各種同好会活動への協力としましてはスクラッチ会に参加致しました。

地区・分区内の交流活動への協力に関しましては11月には水戸の地区大会への参加、2月には土浦でIMに参加して参りました。

委員長総括

親睦活動委員会では委員会メンバーと共に「笑顔」を忘れることなく積極的に親睦活動を進めて参りました。委員会メンバーには経験豊かな歴代幹事、入会3年未満のメンバーと良くバランスの取れたチームだったと考えます。

ただ、前半の課題であった例会開始時間60分前からの準備、お出迎えは難しく少人数ではありましたが委員会メンバーの協力もあり継続することが出来ました。また、担当の懇親会等は明るい雰囲気づくりを目指し、毎回、ゲストによるマジックや演奏、ゲームなどのアトラクションを設け会員の皆様の親睦、ご家族の理解にもつなげることが出来ました。同好会活動の協力では今回野球部での活動が出来なかったのが残念ですが年間を通して全てに参加とはいきませんでした。協力することが出来ました。

最後に1年間、親睦活動委員会委員長として支えてくださいました委員会メンバーの皆様、そしてご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。委員会総括と致します。ありがとうございました。

クラブ会報委員会

橋本 祐一 クラブ会報委員長

事業計画に対する実績

品格がありアテンションのきく紙面づくりに心がけてきましたので、まずは各会員に今年度のテーマが何なのか？という事を周知するため、国際ロータリーのテーマを1面の前面に記載することによって、わかりやすく、理解されやすいような構成で行いました。また、インパクトのある絵ハガキや切手など土浦市や土浦ロータリークラブに起因することを表記することによって、会員の皆様の興味を引くような表紙構成にしてみました。

委員長総括

まずは副委員長の菊地会員が率先して会報作成に取り組んでくれたおかげで、会員の皆様にすばらしい会報を遅滞なく、送ることができましたこと、御礼を申し上げます。引き続き、会報に興味を持っていただくような紙面づくりに心かけることによって、会員の皆様に会報を最後まで楽しんで読んでいただけるようなきっかけづくりにしていく必要があると感じました。

公共イメージ委員会

廣瀬 太 公共イメージ委員長

事業計画に対する実績

1. 例会において、『ロータリーの友』の紹介を行う。
毎月第1例会でのロータリーの友の紹介を行いました。また、計画には記していないものの、ガバナーからの依頼もあり、例会においては『月信』の内容の紹介を行っております。
2. クラブHP・クラブSNSで対外発信を行い、公共イメージの向上を図る。
主に平島会員により、フェイスブックやX等での発信をおこないました。

委員長総括

1年間、例会において『ロータリーの友』を私のつたない説明で紹介させていただきましたが、ある程度はロータリーの活動内容や魅力を伝えることが出来たのではないかと思います。また私自身も読み込む機会を得る事が出来て、たいへん勉強になりました。

米山記念奨学委員会

藤澤 昭彦 米山記念奨学委員長

事業計画に対する実績

- 1・3 令和6年4月30日現在で以下の通りです。

○個人・法人特別寄付	1,290,000円
○クラブ寄付	300,000円
○普通寄付	232,500円
合計	1,822,500円
2. 米山大使をお迎えしての例会を開催いたしました。

委員長総括

予算達成率は90.1%となっており、担当委員長としましては大変に恐縮致しております。しかしながら（公財）ロータリー米山記念奨学会HPによりますと令和6年4月30日現在、会員一人当たりの平均寄付額は40,500円で第2820地区において土浦RCは首位に立っております。寄付累計額におきましても第2位に2,300万円以上の差をつけて首位を保っております。会員数減少の影響か今年度寄付額合計では第5位となっております。2820地区（茨城県）の個人平均額は21,329円（4月30日現在）となっており、全国において第5位となつて

おります。土浦RCは平均寄付額全国2,213クラブ中第36位で、参考までに平均額第1位は2770地区岩槻東RC（会員数24名）の235,028円となっております。

委員長としましては予算未達に終わり申し訳なく思っておりますが、会員の皆様の御協力により諸先輩方の偉大な歴史をある程度は保持できたかなと考えております。会員の皆様の御協力誠にありがとうございました。

会計委員会

伊藤 幹生 会計委員長

事業計画に対する実績

1. 予算執行を適正に行い、クラブ運営に貢献した。
2. 四半期毎に収支実績を作成し、予算執行状況を理事会に報告した。
3. 承認された予算に基づき、運営資金・奉仕活動資金の執行について効率的且つ厳正に管理した。

66期 会長・幹事退任挨拶



財団奨学生 松村みなみ 様挨拶



メイクアップ

6/27 第66期最終例会懇親会 大塚、河合、小坂、佐藤、菅井、鈴木(敏)、鈴木(實)、關本、高田、鶴田、中島、中山、沼尻、沼田、原田、平岡、平島、廣瀬(正)、廣瀬(太)、福田、藤澤

6/30 令和6年度「土浦市健康まつり」
小原、金澤、小坂、鈴木(敏)、高橋、沼田

第67期第1期会費（80,000円）の納入をお願いします。

口座振替は7月8日予定です。

口座残高のご確認お願い致します。

卓席表7月～8月

役卓	原田 博夫	平島 隆之	廣瀬 正	藤澤 昭彦		
S A A卓	中山 雅彦	菊池 泰正	鈴木 亮	古徳 尚子		
A卓	臼田 恭士	安藤真理子	鈴木 敏之	高田 真光	小坂 博	福田 雅典
B卓	小原 芳道	佐藤ばうろ	鶴田 一郎	關本 淳一	石塚ひろみ	
C卓	菅井 歩美	寺内 孝之	金澤 幸江	渡邊 俊樹	平岡 佳代	
D卓	藤田 雪絵	本田 仁子	海老澤孝一	伊藤 幹生	大塚 芳行	
E卓	大槻 利夫	河合 隆	鈴木 實	中島 賢一	松井 泰信	
F卓	萩原 英彦	沼尻 大	廣瀬 太	沼田 真一	大場 傳美	
G卓	飯山 孝之	三輪谷博史	高橋 宏成	廣瀬 昭雄	堀越 恒夫	

2024-25年度 土浦 RC 第 67 期会長 原田 博夫



土浦 RC は、水戸 RC をスポンサークラブとして 1958 年 2 月に創立され、国際ロータリー RI には同年 3 月に加盟承認されました。創立会員は 31 名で、認証状伝達式は同年 10 月でした。創立メンバーの方々を拝見すると、当時の関係者の意気込みを感じます。

ロータリークラブの発足には、20 世紀初頭の、米国中西部の社会状況が色濃く反映しています。当時のシカゴは経済発展が著しく、ビジネス全般に自由主義・市場経済主義が跋扈していました。そのシカゴで、商業道德の欠如に歯止めをかけるべく立ち上がったのが、1905 年 2 月に発足したロータリークラブでした。こうした異なる主義・主張と活動実践が同時に併存・展開しているのが、多民族社会・米国の懐の深さだと思えます。

日本では、1920 年 10 月に東京ロータリークラブが創立されました。日本国内での広範な普及は第二次世界大戦後ですが、戦後の経済成長と市民社会の萌芽が日本のロータリー活動の背景であり原動力だったと思えます。

このような時代背景と歴史的使命を持つロータリー活動ですが、2024-2025 年度の RI ステファニー・アーチック会長のテーマ「The Magic of Rotary (ロータリーのマジック)」、RI 2820 地区大高司郎ガバナーのスローガン「BE THE INSPIRATION (元気な一歩、共に成長するクラブの力)」の下、土浦 RC のスローガンは以下の通りです。

「Toward Social Well-Being (ソーシャル・ウェルビーイングを目指して)」

このスローガンの意味は、そもそも私たちの人生の目的は、紀元前 4 世紀の哲学者アリストテレスの、ポリス (都市国家) における市民のエウダイモニア (幸福感) にならえば、やみくもに経済的に豊かになることではなく、知性・感性を磨き、心の満足・充実感 (ウェルビーイング) を高めながら、家族・親族・友人と相和し、近隣同胞と相結び、社会・国家に貢献し、地球規模の連携を心掛けることにあります。要するに、幸福感は、個人的なウェルビーイング (満足感) の高まりだけでなく、社会的なウェルビーイング (安寧) を目指すことだ、と解することができます。奉仕を旨とするロータリークラブの活動も、こうした心構えで臨むべきだと思えます。

ロータリークラブとしては、こうした思いと伝統を踏まえながらも、進取の精神を失ってはいけない、変革を恐れてはいけない、と思えます。現代は地球規模での転換期ゆえに、各組織・団体および個人は多方面での対応を否応なく迫られています。しかし、受動的な対応であってはならず、日常の生活面でも、それぞれ主体的にチャレンジする志が必要だと思えます。土浦 RC での活動・出会いが、そうした展開に資する機会となることを念じるとともに、そうした場の確保を会員の皆様にお約束して、会長の冒頭挨拶とします。

2024-25年度 土浦 RC 第 67 期幹事 廣瀬 正



歴史と伝統のある土浦ロータリークラブの第 67 期 原田 博夫会長のもと、幹事を務めさせていただきます廣瀬 正でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1958 年 2 月 14 日、創立以来 67 年目を迎えるこの期に、幹事職を務めさせて頂けることはとても光栄なことであり、これまで諸先輩方の歩まれた足跡と築かれた伝統を保ちつつ、新しい波を起こし、来る 70 周年に向け精一杯努めてまいります。

第 67 期原田会長の掲げる土浦ロータリークラブのスローガンは、「Toward Social Well-Being (社会的安寧を目指して)」です。

このスローガン達成の柱として「体感しよう、土浦八景」「体感しよう、垂松亭八景」の案内板設置事業がございます。この事業をクラブ全員で成功させ、この地域に社会的 Well-Being、安寧が導かれることを目標に、私はクラブのエンジンとなって事業運営に尽くして参ります。

格調高く和やかなクラブ作りと、明るく、元気で楽しい奉仕活動が出来るよう全身全霊で幹事職を務めて参りますので、会員の皆様にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

にこにこBOX

6/27 計58,000円 累計2,276,000円

ニコニコの累計9/28から誤りがありました。

訂正してお詫び申し上げます。

9/28	累計	560,000円
10/26	累計	825,000円
11/16	累計	983,000円
12/21	累計	1,132,000円
1/25	累計	1,471,000円
2/22	累計	1,620,000円
3/25	累計	1,758,000円
4/25	累計	1,913,000円
5/26	累計	2,037,000円

新会員紹介

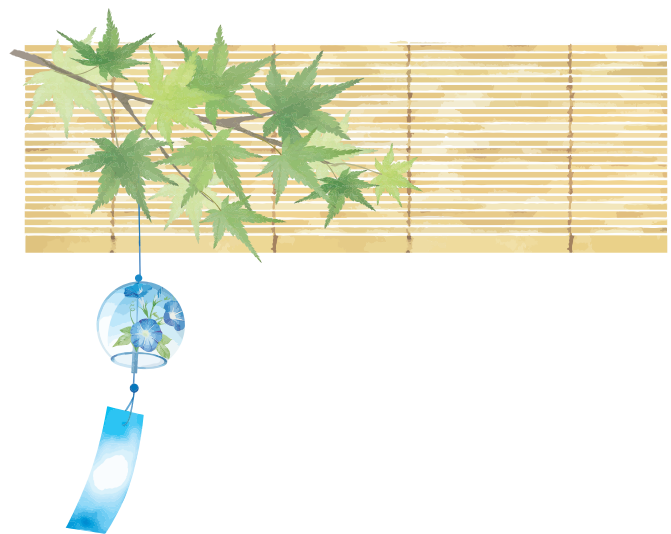


氏名 海老澤 孝一 君
事業所名 土浦ケーブルテレビ(株)

推薦者 小坂 博、沼田 真一
職業分類 テレビ放送

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
45名	23名	21名	1名	47.72



表紙の写真

鳥の写真館

67期週報の表紙写真は、「鳥の紹介」として様々な鳥を説明を添えて掲載していきます。
お楽しみください。



例会予告

7/11 第67期 各委員からの事業計画の発表

7月のロータリーレートは161円です。